

第 26 回支援連絡調整会議 議事録

日 時：2015 年 8 月 11 日(火) 10:00~12:00
場 所：市コミュニティホール 小会議室
出席者：14 団体 17 名（オブザーバー2 団体 2 名含む）
進行：酒井（事務局）
文責：佃（事務局）

1. 事務局連絡（10:00~10:05）

➤ 第 19 回運営委員会 実施報告

前回から継続して「陸前高田市まちづくりプラットフォームの考えるこれからの陸前高田のまちのビジョン」について検討。NPO 団体や地域へのヒヤリングを進めるにあたり、NPO 団体のアプローチ先の洗い出しを行っている。市内に拠点を置く NPO 法人等を優先してヒヤリングを実施予定。

<ビジョンのゴール>

- ・今後のまちづくりの指標
 - ・団体同士の連携のきっかけづくり
 - ・市の復興計画と照らし合わせる資料（NPO・地域が補完している部分の確認）
- ヒヤリングを経て、12 月初旬に完成予定。完成後は、ホームページに掲載。

➤ 2014 年度 支援概況調査 集計結果報告

メーリングリストでデータ版は共有済み。

活動履歴は 36 団体、アンケートは 37 団体からいただいた回答をまとめた。

注：まちづくりプラットフォーム登録団体を対象に実施した調査のため、陸前高田市におけるすべての支援を網羅したものではないのでご留意いただきたい。その上で参考資料として活用いただきたい。

➤ まちづくりプラットフォーム事務局のお盆休みについて

お盆休みはなし。連絡は事務局がある陸前高田まちづくり協働センターまで。

2. 活動報告（全体）（10:05~10:40）

- ・全参加団体より活動報告、イベント告知、および事務所の夏期休暇日程など共有
- ・質問あれば適宜。各団体 2~3 分程度で報告

※以下発表順、発表者敬称略に記載

※発表の順番は第 26 回支援連絡調整会議参加者名簿に準ずる。番号は名簿の番号を記載。

◆活動報告

1	高田大隅つどいの丘 商店街／山本	<p>7/17～19 未来商店街とフェザンのコラボ企画で行われた、高田高校生のデザインしたTシャツの展示会をサポート。フェザンのサテライト店舗の販売もあり、3日間で約300名が来場、若い世代が多かった印象。高校生に物販に関わるきっかけを提供できたと、先生方も喜ばれていた。</p> <p>8/9には、高田高校生がフェザンへ行き、イベント開催のお礼とフェザンでの企画の打ち合わせを行ってきたとのこと。</p> <p>○お盆休み：事務局なし。商店街内の飲食店も営業。</p>
2～4	陸前高田市復興支援 連絡会／島倉	<p>8/6 まるごとりくぜんたかた協議会のスタディプランの一環で、「仮設住民と学生との交流」として立教大学の学生20名を受入れた。午前中は市内4カ所の仮設でのお茶会に参加、午後はまちづくり協働センター協力のもとワークショップを開催。防災の意識を伝えたいという思いから、住民から積極的に学生に話をしてくれた。ワークショップを通じて、学生から意見を聞く中で、支援員も改めて自分たちの活動についての意味を再確認出来た。</p> <p>8/9 竹駒小学校の納涼祭（自治会主催）のサポートを行った。</p> <p>○お盆休み：8/13（木）～8/16（日）</p>
5	いわて生協／池田	<p>7/20 から移動販売「にこちゃん号」がコース変更し、要望のあった下和野災害公営住宅も廻るようになった（週3回から週2回にし、廻るポイントを増やした）。30名ほどが来て好評だった。ふれあいサロン等は継続して活動中。</p> <p>本日8/11の花火大会、未来商店街で大阪の生協が模擬店を出すので、その応援に行く。</p> <p>8/23（日）のバスボラは、陸前高田市内での活動。</p> <p>○お盆休み：なし</p>
6	もっちいと森の仲間 たち／望月	<p>7月は、下和野災害公営住宅・モビリア・下矢作診療所跡地の仮設の畑を廻っていた。</p> <p>九州から来た高校生ボランティア選抜チームの3泊4日をコーディネート。花巻から、陸前高田・大船渡・大槌・平泉を廻り、現地の様子を見て、地元の住民の方から話を聞き、作業もありの盛りだくさんの内容だった。帰りのバスでは、感想や自己採点し発表する時間を設けた。</p> <p>お盆明けから秋野菜が始まるので、保育園等で畑作業のサポートする予定。</p>

7~8	大船渡地区被災者相談支援センター／榎屋	<p>報告 4 点。①被災者相談支援センター7月の相談件数：住宅の再建の支援制度・災害公営住宅や住宅に関する相談 50 件。</p> <p>②7/30 に大船渡市内で復興の現場見学会を開催、21 名が参加。高田からは仮設住民 2 名とひまわりハウスが参加。3 カ所（恋し浜トンネル・合足地区海岸保全施設・大船渡市魚市場）を廻った。次回 9/7（月）に学生向け、また 10/24（土）に高田地区の復興の現場見学会（午前と午後 2 回）を予定している。</p> <p>③8/7~9 住宅再建相談会を開催。陸前高田市内では、8/9 午前のコミュニティホール大会議室に 14 組 21 名が参加。横田地区の仮設の方が多かった。午後の米崎コミセンには、脇ノ沢防集が 10 月に引渡しということで 8 組 8 名が参加。</p> <p>④「暮らしの安心ガイドブック」を先月発行。陸前高田市では被災者支援室を通じて、仮設に全戸配布している。ご活用いただきたい。</p> <p>○お盆休み：なし</p>
9	陸前高田まちづくり協働センター／黄川田	<p>団体活動の支援や助成金等の相談を受け付けている。</p> <p>8/6 に復興支援連絡会から依頼を受けて、立教大学生のワークショップのファシリテーションを行った。</p> <p>8/27（木）19:00~20:30 高田地区の市民会議を開催予定。アンケートの集計を基に、9 つの分野に分け、これから分野ごとに話を進めていく予定。</p> <p>○お盆休み：なし</p>
10	教育支援チーム「まつ」／佐々木	<p>活動のひとつに「子どもの見守り活動」がある。小友町の事務所は、1~2 年目は夏休み中子どもたちの利用が多かったが、3 年目の今年はほとんど来ていない状況。昨年小友にプールが出来たことや町内で子ども同士が馴染んでいるからなど、良い意味で状況が変わったと嬉しく思っている。</p> <p>○お盆休み：8/13（木）~8/18（火）</p>
11	NEC ネットエスアイ（ひまわりハウス）／村上	<p>7/17NEC 創立記念日で、ひまわりハウスの活動が「NEC Contributors of the Year 2015 バリュースタール賞」を受賞。早めの休みをいただいたので、お盆中は営業。</p> <p>8/11（火）~31（月）まで、水沼久直さん（矢巾町）と田崎飛鳥さんの絵画展「二人展」を開催している。</p>

12	パクト／桑久保	<p>ニ又復興交流センターで、職員研修の一環として、岩手大学佐々木先生の「支援者のためのメンタルヘルス/リラクゼーション」を受講。普段、ストレスやメンタルについて個々で考えることがあっても、みんなで話し合いながら一堂に会して話を聞く機会がなかったので、有意義な時間となった。</p> <p>○お盆休み：8/12（水）～18（火）（復興サポートステーション・米崎事務所）※ニ又復興交流センターは通常営業。</p>
13	岩手大学 三陸復興推進機構／佐々木	<p>夏休みに入り、大学生がみなさんのところにお邪魔することがあるかと思うのでよろしく。</p> <p>「発達/発達障がい」（子ども支援）や「傾聴」の研修を行っている。関心があれば、お声掛けいただきたい。</p> <p>今年度、トラウマ介入の精神療法(EMDR)を実施している(WHO推奨)。病院に行くほどではないが辛そうだという方がいれば相談室をご紹介いただきたい。声が漏れない部屋があれば出向くことも可能。</p> <p>○お盆休み：8/12（水）～14（金）（大学職員は休みだが、さまざまな活動をしているので、個々に受付している）</p>
14	いわて連携復興センター／葛尾	<p>7/18 盛岡でシンポジウム「一人ひとりが大事にされる災害復興法を目指して」を開催。来年度の立法化に向けて動く。</p> <p>7/26 遠野での復興庁の「新しい東北」交流会にて、行政とNPOの連携について改めて確認され、事務次官より「まだまだ復興の半ばなので東北にきちんとした手当をしていきたい」という話があった。</p> <p>○お盆休み：8/13（木）～8/16（日）</p>
15	セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン／藤原	<p>「子どもの保護事業」・「教育事業」・「子どもにやさしい地域づくり事業」の3本柱で活動。</p> <p>7/17に高田高校で『サントリー・SCJ水産業復興奨学金』の贈呈式が行われ、17名の生徒が参加。贈呈式後には、バレーボールクリニックが行われた。</p> <p>8/2～5には、子どもまちづくりリーダーツアーを実施。岩手・宮城・福島の子どもたち37名が参加。陸前高田市からは13名（小5～中3）が参加。みんなでワークショップをして提言書をまとめ、8/3に復興庁を訪問し復興大臣に提言書を提出した。提言書はHPに掲載中。</p> <p>○お盆休み：なし</p>

16	いわて医科大学／佐々木	<p>元々気仙に住んでいたが、震災後に医療班として入り、今は週1回金曜に陸前高田に来て活動をしている。</p> <p>陸前高田市役所の中でも震災後継続して、未来図会議を開催、行政・大学・地域の方々が参加しているが、なかなか目に見える形で進められないことがたくさんあり、常に限界を感じながらみなさんの力・声をいただいている。先月は計画作りとして「健康増進計画」について、健康づくり・地域づくりも含めて議論を重ねている。次回は、8/21（金）、9/18（金）に開催予定。</p> <p>11/22（日）コミュニティホールで5年ぶりに「健康の集い」を開催予定。5月に行ったものはプレ実施。さまざまな活動をしている人の発表の場になるよう考えている。</p> <p>岩手医大では震災の年から地域住民コホート調査を実施している。10月以降に、市民のみなさんを対象に健康調査を実施する予定。</p>
17	夢ネット大船渡／河野	<p>引き続き、陸前高田市内の仮設住宅と災害公営住宅で手芸講習会を行っていく。</p> <p>○お盆休み：おそらく8/12（水）～8/17（月）</p>

3. 活動分野ごとの討議・意見交換（グループ議論）

◇「今後の連携・協力・サポート体制構築に向けた情報の整理と一覧化および意見交換」

<1G 地域・コミュニティ>

➤ 意見交換

- ・ これから公営住宅に移る方や悩んでいる方の中には、不安（家賃等）を持っている方がいる。マイナスな情報が耳に入ることの方が多いことも一因か。正しい情報が届いていないということもあるだろうが、情報だけではなかなか動けないこともあるので、仮設住宅にいる間から、家賃が発生した時のことをシュミレーションしてみればイメージが付きやすいのではないか。
- ・ 公営住宅のサロン・お茶会で、把握していない団体の活動があることが共有された。仮設が出来た当初と同様、住民に混乱を起こさないためにも、活動する団体の情報共有が必要。
- ・ 公営住宅の支援に関しては、民生委員を中心に、そこを支援する社協、さらに社協を支援する団体という形となっている。

<2G 子ども・教育/子育て・女性>

➤ 意見交換

- ・ 「ふれあい教室」は訪問出来ていない。今後も継続して日程調整。
訪問側も、発達障がい等についての勉強もしなければならぬのではないかとの議論から、支援連絡調整会議の前に時間をとり勉強会を開く案も出された。
- ・ 陸前高田市内で子どもたちの姿を見ないという意見が出た。イベントの数ではなく、体験する場・環境がないからではないか。
- ・ 子どもたちのコミュニティの変化について。
→小友町・米崎町の子どもが増えているが、高田町の子どもが減っている。
- ・ 子どもたちの変化の中でどのようにサポートしていくかということで、世代間交流の案が出る。(お茶会に子どもが参加する等)
→アイデアは出るが実際に進めていくには、コーディネーターの必要性も話された。元教師等地域のキーマンを仕掛け人にしてみてはどうか。

<3G 商工・観光・産業・その他>

➤ 意見交換

- ・ 二又復興交流センターでは、学校関係者の利用が増えている。ボランティアから、視察や観光へとシフトしている。
- ・ 前は気仙管内の温泉のスタンプラリーの話だったが、今回は市内の絶景マップについて。陸前高田を訪れる人の目的は、ボランティアから観光にシフトしてきているので、紙・電子媒体何でも良いので、マップを作ってみてはとアイデアが出た。物産協会のレンタサイクルも活用したい(市内各所でバッテリーの補充ができるが良い)。
- ・ 情報発信については、イベントや企画を知らなくてもったいないことがあるので、引き続き情報の発信・拡散をしていく。

4. その他

特になし。

【次回の開催日程】

- ・ 第27回支援連絡調整会議
9月15日(火) 10:00~12:00 ※会場及び詳細は別途連絡